
令和元年 北海道建築士会 第2回まちづくり委員会 議事録

開催日時：令和元年11月23日（土） 15：00～17：30

開催場所：事務局会議室（札幌市中央区大通西5丁目 大五ビル6階）

出席者：＜担当常務 兼 委員長＞針ヶ谷 拓己（札幌）

＜副委員長＞清水 浩史（札幌）、山田 直登（空知）

＜委員＞永井 雅規（札幌）北野 学（名寄）、高橋 真美（北見）、松本 純（札幌）

＜協議事項＞

1. 令和元年事業報告、令和2年事業計画・予算について（針ヶ谷）【15：00～15：30】

（1）令和元年事業報告・決算見込み

○別紙にて説明

事業報告については各担当責任者より補足や感想いただく

（2）令和2年事業計画・予算について

○別紙にて説明（委員会の日程、各事業の日程確認）

・委員会等の日程

1月18日（土） 小会議（事業計画について）

2月29日（土） 第1回委員会（事業計画、フォーラム・全道大会の企画検討）

5月30日（土） WEB会議－1（フォーラムの企画確定、全道大会の企画検討）

8月29日（土） WEB会議－2（全道大会の企画確定）

10月17日（土） 第2回委員会（次年度事業計画及び予算について）

・事業の日程

2月29日（土） 北海道建築士会まちづくり会議

6月 未定（土） まちづくりフォーラム

9月5日（土） 全道大会網走大会B分科会

10月17日（土） 景観まちづくり塾

2. 高校生建築デザインコンクールについて（針ヶ谷）【15：30～15：40】

○担当 ◎針ヶ谷

○日時 運営委員会6月、選定委員会9月

○概要 道内の建築系学科が設置されている工業高校に在籍する生徒の皆さんから、道の整備する公共建築物のデザインについて、高校生らしい夢のあるユニークなアイデアを広く募集するもので、北海道・日本建築家協会北海道支部・北海道建築士事務所協会・北海道建築士会の共催によって開催される。

まちづくり委員会としては、6月の運営委員会、9月の選定委員会へ委員を派遣する。

○選考委員会（実施済）

・開催日 令和元年9月11日（水）10：30～15：00

- ・開催場所 北海道庁赤れんが2階1号会議室
- ・内 容 応募148作品より、一次審査にて各選定委員10作品を投票。二次審査は選出された10作品を各選定委員にて5段階評価し、その結果を基に全体協議が行われ、各賞を決めた。

最優秀賞 苫小牧工業高校 最上稜平さん、佐藤柚輝さん

タイトル「LOOP OASIS」

実現可能なシンプルデザインでありながら、美しくかつ既存の緑地をうまく活用した作品。

優秀賞 小樽未来創造高校、名寄産業高校、苫小牧工業高校

佳作 函館工業高校×2、留萌高校、苫小牧工業高校

特別賞 苫小牧工業高校×2

公 開 令和2年1月9日、10日

北海道庁1階道政広報コーナーにて応募全作品の展示会を開催

※詳細は別紙による

○運営委員会（2回目）

- ・開催日 令和2年1月9日（木）
- ・開催場所 北海道庁10階建設部A会議室

3. 高校生「建築甲子園」について（針ヶ谷）【15：40～15：45】

○担当 ◎針ヶ谷

○日時 応募締切10月末

○内容 将来の日本の建築を担う建築教育課程のある工業高校及び高等学校の生徒を対象に、研究創作活動に対するコンペ「建築甲子園」を実施する。研究創作活動の例として、実習活動、建築の設計、インテリア、家具の設計製作、都市その計画とアイデア等がある。主催は日本建築士会連合会・都道府県建築士会、後援は全国工業高等学校長協議会・国土交通省である。
道士会としては、募集時、表彰時に学校を訪問し積極的に関わる。まちづくり委員会としては、北海道代表の作品選抜の審査を行う。

【作品選抜審査】

- ・開催日 令和元年10月19日（土）
- ・選抜方法 審査は、当会まちづくり委員9名にて行われた。審査方法は応募要項に記載のあった「テーマの理解度」「提案度」「具体性」「独創性」「表現力」に、「地域への波及効果」を加えた6項目を各自5段階評価し、最高評価点の作品を候補に上げ、最終協議の上、北海道代表の1作品を選抜した。
- ・選抜作品 「土地の有効活用によるサスティナブルな地区センター」

北海道札幌工業高等学校
札幌市の北東に隣接し、寒冷地かつ豪雪地帯である当別町（とうべつちょう）。現在、地区センターではなく小規模なコミュニティセンターが存在するが、特に冬季の光熱費が嵩み、施設の維持管理・運営に苦慮されている。この作品は、

北海道の厳しい気候を逆にとり、建物デザインを考慮しながら、雪氷熱エネルギーや太陽光を積極的に活用するサステナブルな地区センターを提案している。光熱費や施設の収支までわかりやすく比較し、施設運営についての持続可能性が検討されていることや、模型や写真、表などできれいにレイアウトするなど、好印象の評価であった。

4. 連合会まちづくり委員会について（針ヶ谷）【15：45～15：55】

①全国まちづくり会議及びまちづくり委員長会議

- ・開催日 令和2年1月31日(金)・2月1日(土)
- ・開催場所 笹川記念会館 第4・5会議室 飛龍の間（東京都港区三田3-12-12）
- ・参集規模 47都道府県 100名
- ・テーマ 「いままでとこれからのまちづくりを探る」
- ・内容 1日目は東京2020の「いままで」と「これから」のまちづくりをテーマに事例報告会を行うとともに発表者らによるパネルディスカッションを行う。2日目はまちづくり5部会からみる東京のまちづくりについて分科会を行う。2日目午後のまちづくり委員長会議は各ブロックより活動報告及び各ブロックに分かれて今後の活動の方向性を話し合い、最後に、部会その他のまちづくり活動全般や連合会からの支援等、全体会議を行う。
- ・参加予定者 次期委員長

5. 連合会まちづくり部会について（針ヶ谷）【15：55～16：25】

①北海道建築士会まちづくり会議の開催

年に1回、各まちづくり部会員及び活動関係者（本部の各委員等）が一堂に集まり、活動報告やシンポジウムを行うなど、情報を共有する場となることを目的に開催する。また、「まちづくり」というキーワードを通して、各委員会の連携強化も目的とする。

- ・開催日 令和2年2月29日(土)
- ・開催場所 札幌（大通公園ビル 通称：ヤクルトビル）
- ・参集規模 全道各支部（部会関係者など） 30名
- ・内容 防災／歴史／景観／街中／福祉というカテゴリーのまちづくり活動について、それぞれの活動報告や行政を交えたシンポジウムなどを予定。

※北海道ブロックのまちづくり部会担当組織は下記をベースにスタートする

- 防災まちづくり部会：被災地応急支援委員会
- 歴史まちづくり部会：ヘリテージマネージャー特別委員会
- 景観まちづくり部会：本部まちづくり委員会
- 街中（空き家）まちづくり部会：本部まちづくり委員会
- 福祉まちづくり部会：本部女性委員会及び他団体エキスパート

<意見など>

- ・観光バリアフリーをテーマに進めてはいかがか
- ・全国大会福まちセッションに協力いただいた日本UD観光協会に講演を依頼しては

- ・来年のオリンピック札幌開催もあり行政の方も観光バリアフリーの動きがあるはずなので講演いただきたい
- ・今回のテーマの場合、講演やパネルディスカッションの後は、真面目なワークショップというより、知識を掘下げてゲーム感覚で楽しめるものが良い

②まちづくり部会のサポーター募集

全道の会員にまちづくり部会のサポーターを募る（まちづくり委員会主催の事業参加者を対象）。

6. まちづくりフォーラムについて（清水）【16：35～17：05】

地域のまちづくり活動にふれ、そのまちのことや、地域が抱える問題などを知ることで、今後のまちづくり活動へのヒントを見つけ出せる「場」となることを目的に開催するものである。

- ・開催日 令和2年6月未定
- ・開催場所 未定
- ・参集規模 全道各支部、学生、市民 60名
- ・内 容 未定

<意見など>

- ・ウポポイ（民族共生象徴空間）が来春完成する白老での開催が良いのではないかと
- ・白老町役場の市原さん（青年委員）をキーマンに進めてはどうか
- ・ウポポイができることで、白老のまちが大きく変わっていくと思われそのあたりの展望や課題を聞いてみたい

《連絡・報告事項》【17：05～17：30】

1. 景観整備機構について

①景観まちづくり塾のアンケート結果について（清水）

②札幌の美しい景観を考える会 景観集会へ参加・登壇（針ヶ谷）

- ・開催日 令和元年11月8日（金）
- ・開催場所 札幌エルプラザ 3F 工芸室
- ・参集規模 市民30名
- ・内 容 市民活動団体による景観活動の報告が行われたあと、「札幌らしさ」とは？をテーマにグループ討議が行われた。なお、景観活動報告にて、建築士会のまちづくり活動について発表した。

2. 次期まちづくり委員会組織について（針ヶ谷）

11/29 内定。12/6 理事会にて決定予定

- <委員長> 清水浩史（札幌）
- <副委員長> 山田直登（空知）、松本純（札幌）
- <委員> 永井雅規（札幌）、鈴木光彦（紋別）、酒井一誠（石狩）、末吉勇介（函館）、佐藤将吾（士別）、山崎景子（釧路）

<事務局> 岡本友美

<担当理事> 針ヶ谷拓己（札幌）

3. 今期振り返り

今期2年間の委員会活動について、各委員より感想をいただき、これまでを振り返った。各委員のコメントは、／他のまちの活動を学び自分のまちに持ち帰ることができた／とても楽しく活動できた／WEB会議のときの登山合宿も楽しかった／まちづくり仲間の輪が一気に広がった。行政にもフィードバックさせたい／全国大会の運営を経験できた／全道各地から選りすぐりの、いいメンバーが集まっていて居心地が良かった／など、充実していた委員会活動についてお話しいただき、今期最後の委員会を締めくくった。